

磐城大衆新聞

毎月十日一回発行
 定 價 一 部 行 五十銭
 廣 告 (場所指定 十銭増)
 發行兼編輯印刷人 長 谷 川 兵 衛
 福島縣平市五丁目三十番地
 發行所 磐城大衆新聞社

軍需景氣と常磐炭

純益五百六十萬圓

噸當二圓から四、五圓の利

今年の産高二百八十萬噸

常磐の各炭礦は軍需景氣に如何れにしても噸當り二大活況を呈してゐるから收圓の利は總額五百六十萬圓入經營の現況を上げれば昨の純益に上る譯けで尙ほ軍需に比して大体二圓高の噸當り純益に附物の貨車の噸當り單價は生産費に於て一不廻りは常磐に所記三十萬圓五十錢乃至一圓七十錢を噸の増産が實現されれば相増してゐるものと見て五十當手古摺つたであらうこと錢乃至三十錢の利福かあを鐵道側にも語れてゐるがリネット・プライス(山元の現在のところ割合に圓滑で正味値)を六圓五十錢平均山元貯炭は殆どなく何からと云はれるものに對して噸何にまで惠まれた炭礦の喜當り九圓平均を缺けてゐる一方でない、斯の如くい、賣價の中間後の事務費時運の幸に浴してゐる現況及び諸雜費を控除しても二が何時迄續くであらうと見圓の純益は確實で年産に二込にありては即今唱ひられ三千噸程度の小規模の炭礦る石炭液化の團策の如き遙は經營が極めて僅少に止ま油百五十萬噸を目標とする關係から噸當り四圓乃至原料を噸當り六噸と云はれ五圓の純益を上げてゐるやうであるものに九百萬噸を要ことは想像に難からず軍需するものであるから炭礦のインフレに乗出して大馬力景氣は今後下火にはならぬを注ぐ本年の總出炭は一割であらうと。

程度の増産を見込まれたが
 磐炭の災害大日本炭礦の落
 盤などで實現されず大体二
 百八十萬噸かと思はれてゐる

江尻家の慶事

石城郡泉村々長江尻博孝氏
 長男郷(三)氏はこの程平市

諸橋久太郎氏夫妻の媒約にて結婚式を挙げ三日一般のより白河郡白河町瀨谷銀行披露宴を張ると、新郎は太頭取瀨谷磯吉氏二女美保子田中より明大に學ぶ家事に(三)さんと婚姻整ひ去月二從事多種趣味家で新婦は白日午前十一時から自宅泉村河高女出の才媛である。

本格的探湯工事へ

湯本町温泉の諸工事

一日も早く完成を期待され進の上第二次のボーリングの湯本温泉諸工事は既を試みての結果にして、良に斜面にて二百七十間(海好ならば茲に將來變動なき水面下五百二十尺)を掘進温泉を得るわけ工事關係したので今明中に入山探炭者は一齊ハリ切つて掉尾の礦の技術者より坑内ボーリング努力を續けてゐるが豫て日のングを行ふ段取となつたが立製作所へ注文中であつた此湯本町斷層に對する試験排水ポンプも今月中か運ぐ後一日八尺の能率で更に井く後此同町の復湯事業は(海水面下六百尺)を掘よく時間の問題となつた

嘗めも嘗めたり

六十一萬貫

石城郡下鹽消費量

石城郡下の人々が去る四月六週で貫數にすると六十一以降九月迄の六ヶ月間に一萬四千二百六十八貫八百匁の位の鹽を砥めてゐるかとを砥めた事になる昨年同この程平出張所の統計を調期に比して六萬二千六百八べて見ると驚くなかに數量十八貫匁の増加である、こに於て二百二十萬三千五百は去る四五の兩月の味増

二大衆片々

劫に宥さる時無し
 △市町村會議員の椅子が一つの利權化してゐる結局はやつつけられることなる
 △刃による暗殺よりも舌に△父親が小供を叱つてゐたよる暗殺の方が社會的の害毒は大きい
 △改悛せざる悪人は未來永醬油醸造期において本年はで買受けに來た事があるが軍事關係で製鹽出來の關係なんせ六十一萬貫の鹽を砥上小野新町中通り方面ではめ盡した事は一般か知つた品不足を來し、平出張所から啞然とする事であらう。

古物商方面で

嘘八百を並立て

〇〇する不徳漢

平市六丁目居住佐藤某は言で被害者も少なくはない葉たくみに言を弄して古物△某被害者曰く僕は決して商方面に出入口に出まかせ告訴は致しませんがいつかの嘘八百を並立て収入を得は其の罪名が明白となつてんとして未遂に終た事も少とつかいしのつかぬ事があからず、其れか氏の常習犯るでせうと云はれて居る

三關内藥局

藥劑師 關 内 榮 助
 平四丁目 電四〇

平病院

院長 鈴木 定 藏
 平市元共濟病院跡 電話六四一番

△自分の立場を擁護するた△ゴルフの球にトゲが生えめに他人に責任を轉嫁すたら大變だよ
 △莫大な交際費の課税を免れてゐる〇〇長を放任するとしてら市民は税金を拂ふ必要なし、なんぞ、言はれてゐる「市」はいつたいごこなのがな。

良品廉賣に勝る商略なし 釜屋商店

東京振替口座一〇九五六
 電話九番 九九番

澤 渡 村

助 役 大 竹 治 衛 門

收入 役 佐 藤 清 司

村 會 議 員

菅 野 原 重

佐 藤 金 彌

田 子 慶 三 郎

佐 川 兼 義

澤 渡 村

小 林 醫 院

箕輪村會議員

大 和 田 和 一 郎

野 木 貞 四 郎

| | | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------|--------------------------------------|----------------------------|-----------------|--|
| 川前村 村長 永山忠二 助役 矢内安藏 | 川前村 村長 川津佐々木 助役 根本久吉 | 川前村 村長 永山久吉 助役 駒木丈助 | 川前村 村長 新妻長太 助役 白土弘衛 | 田村郡夏井村 安藤木炭店 | 小野新町 村長 矢内一良 助役 松本岩吉 渡邊重左衛門 | 瀧根村 村長 松永高之助 助役 先崎石七 | 飯豊村 村長 石井福太郎 | 小野新町々會議員 町長 小泉音七 助役 今泉德多 矢内佐一 |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------|--------------------------------------|----------------------------|-----------------|--|

| | | | |
|----------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 合資 平製作所 業務擔當社員 西山惠一 電話四一八番 | 三井生命保險株式會社 平事務所 所長 渡邊利助 理事 山野邊程知 | 公債其他質物一般 草野質店 平市鍛冶町 電話八十八番 | 小野新町々會議員 根本順忠 白石末松 大和田留之助 吉田周助 秋本八郎 小林金伊紋 吉田重次郎 小泉賢吾 小泉積次 草野林之助 草野積次 矢吹佐一 矢内幸作 小野泰臣 渡邊喜久造 宗像德彌 門野尊如 小野音三郎 |
|----------------------------------|---|-------------------------------------|---|

| | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|--|
| 田村郡瀧根村神俣 博多醫院 院長 博多藏人 | 礦山用諸機械販賣 三瓶電氣商會 平市仲町 電話五九七番 | 海軍工廠御用達 銅鐵機械 井尻七三郎商店 福島縣平市鍛冶町十一番地 電話五二二番 荷受場 平市鍛冶町廿三番地 倉庫 平市鍛冶町九番地 |
|-----------------------------|--------------------------------------|--|

| | | |
|---|--|-------------|
| 飯野村 村長 伊藤淺之助 助役 箱崎才三郎 收入役 永山菊治 | 飯野村々會議員 (順不同) 山崎甚內 北郷喜多次 鈴木木秋光 江尻桃太郎 山崎衆七 山崎貞次 鈴木榮太郎 鈴木木榮太郎 林邊廣一 渡邊廣一 鹽松 草野又三郎 白土吉三郎 鹽千治 山崎郁子 | 三坂、澤渡村會議員一同 |
|---|--|-------------|